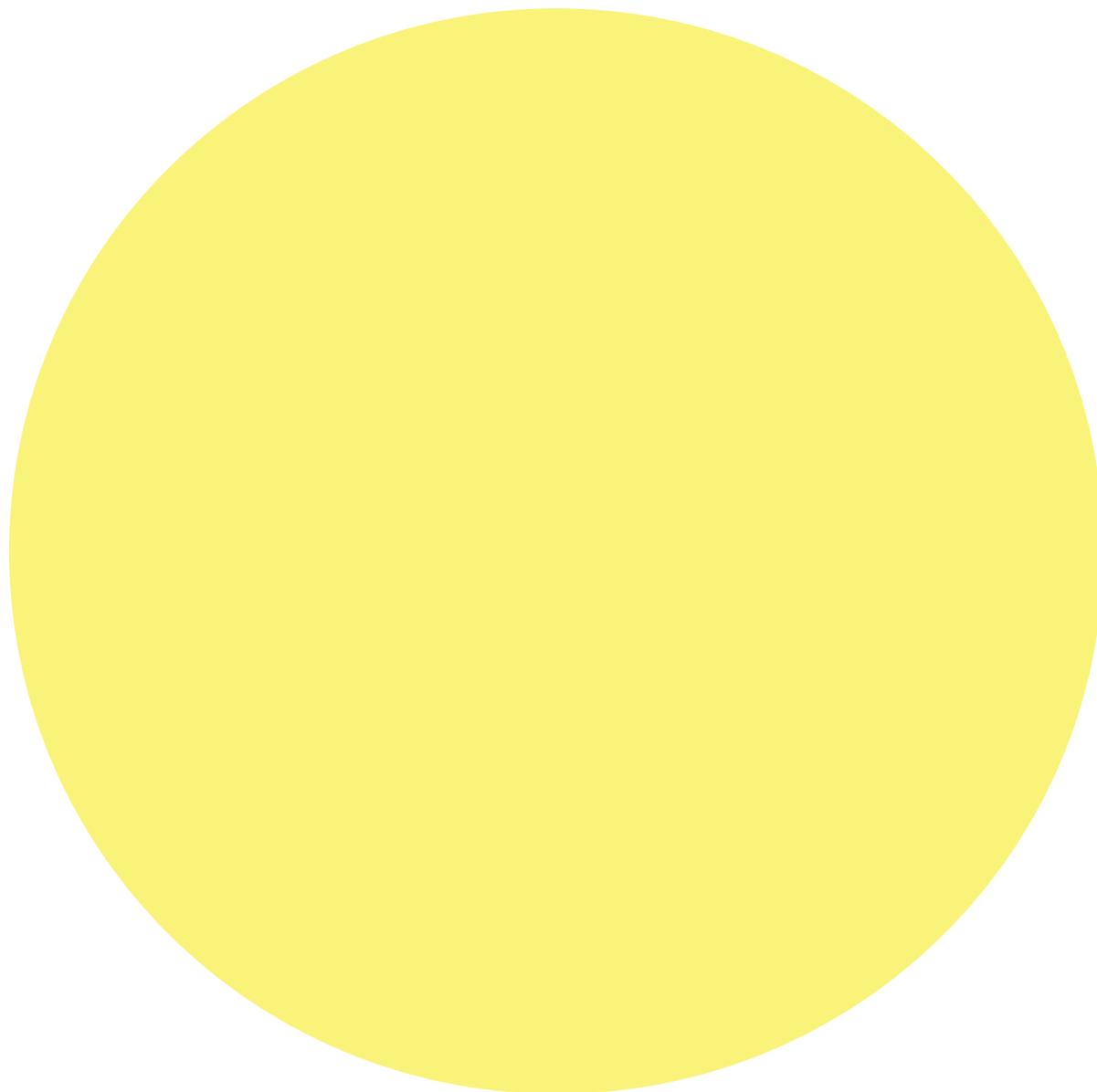


まちのにぎわいづくりの設計図、できました



小金井市産業振興プラン
概要版

令和4年3月

産業振興プランって何？

小金井市における産業振興の目指すべき方向性や取組を整理するために定めたものです。まちを活気づけるための言わば「まちのにぎわいづくりの設計図」となるものです。

産業振興って？

一般的には商業、工業、農業、観光などの市内事業者が営業・操業しやすい環境を整え、創業・起業を支援することで、地域産業の持続可能性を高めることに主眼が置かれています。

しかし、小金井市の産業振興プランでは、生活都市という特性を踏まえて、市民、地域団体、事業者、行政等がそれぞれ主体となって、地域の付加価値を高め、市民が豊かに暮らすことのできる環境を産業面からつくりだすことを重要視しています。

何を目指すの？

まちの活気を生み出すことです。

そのために、まちの活気を生み出す源となる商業、工業、観光に関わる市内事業者、市民や団体等が安定的・持続的に営業・操業ができ、また、新たにチャレンジしやすい環境を整えます。

その上で、そこから生み出される魅力を広く伝えることで、小金井市に住み、働き、学ぶ人たちが楽しむことのできるまちを目指します。

1

まちに
ブランド感を
感じることに

方針 1

住みたい・働きたい・訪れたいと
思うような魅力を磨く

考え方

まちの魅力を生み出し、磨き上げることで、
小金井市に住みたい、市内で働きたい、
遊んだり学んだりするために訪れたいと
思うようなまちをつくっていきます。
まちの魅力に引き寄せられ、
多くの人が集うことがまちの活気につながります。

取り組んでいること

シティプロモーションの展開

小金井市シティプロモーション基本方針の策定と前後して、市では、公式 YouTube チャンネルの開設や専門学校等と連携したプロモーションビデオの作成などに取り組んできました。令和2年にはリーフレット「小金井市はこんなところです。」(右写真)を発行し、市民から広く公募した魅力をまとめ、イメージアップ・魅力発信に取り組んでいます。



創業・起業による東小金井駅周辺のエリアブランディング

平成26年の開設以来、東小金井事業創造センター(通称「KO-TO」)は、小さな企業誘致の場として機能してきました。その後、KO-TOの指定管理者が創業・起業を含む新しい働き方を発信するウェブサイト「リンジン」(右写真)を立ち上げ、さらにJR中央線高架下にシェア・オフィス、シェア店舗を開設し、新しい働き方がエリアの魅力となりつつあります。



2

暮らしていて
楽しいこと

方針2

暮らしていて楽しい、
訪れて楽しいと思える
魅力を数多く生み出す

考え方

市内各所に魅力を感じる場所や機会を生み出し、
暮らすことや訪れることが楽しいと
思えるまちをつくっていきます。
それら場所や機会が至る所にあり、
近くに住み、働く人が楽しむことに加えて、
まちを回遊して楽しむ人も増えていくことで
活気が生まれていきます。

取り組んでいること

地域でのイベントに対する支援

市内では商店会、商工会、小金井市観光まちおこし協会を始め、自治会などの地域コミュニティが様々なイベントを開催しています。市としては、広報やイベント会場の提供などの後方支援を行っており、今後も継続していきます。さらに、新たに活動したい事業者や市民等も相談しやすい体制をつくり、支援対象を広げていきます。

市立公園の利活用（キッチンカーの出店）

市では、コロナ禍での飲食店支援、公園における魅力向上及び賑わい創出を目的として、市立公園2カ所にてキッチンカーを定期的に出店できるようにしました。

令和6年度からは、市立公園の利活用を更に推進するため、官民連携による公園の維持・管理運営により、公園の活用を図ろうとしています。



方針 3

まちを
盛り上げる人が
多いこと

魅力を生み出し、
発信する人と出会い、増やす



考え方

魅力づくりに関わる意欲のある事業者を増やすとともに、
まちの魅力を生み出すことや、それを誰かに伝えることに
関心のある人を掘り起こし、育てることで、
主体を増やしていきます。
そして、そのような人たちによって新たな魅力が生み出され、
活気あるまちになっていきます。

取り組んでいること

東小金井事業創造センター (KO-TO)

KO-TO は、創業・起業を支援することを目的として小金井市が設置した創業支援施設です。創業・起業を考える人や実際に事業を始めた人を対象としたセミナーが積極的に行われており、郊外における新しい仕事、新しい働き方が生まれる場となっています。



となりまちプロジェクト (3市魅力向上プロジェクト)

武蔵野市・三鷹市・小金井市が連携し、市民と協働して各市の魅力を高め、発信することで、各市の市民が互いのまちの交流人口となり、また関係人口を増やしていくことを目的とした事業です。地域での活動に関心のある人を市と観光まちおこし協会が支援し、活動を新たに生み出そうとしています。



4

方針 4

魅力を生み出す人をつなげ、
応援する人もつなげる

人と人との関係
が深いこと

考え方

事業者や活動する市民をつなげ、
連携することで相乗効果を生み出します。
また、魅力を生み出す人とそれを楽しむ人たちの
関係も深めることで、魅力が地域に定着するようにします。
様々な立場の人たちの関係が育まれることで
徐々に支え合うコミュニティとなり、
活気づくりへとつながります。

取り組んでいること

わくわく都民農園こがねい

小金井市観光まちおこし協会では、東京都の「高齢者活躍に向けたセミナー農園整備事業」の一環として、武蔵小金井駅前の農園を借り受け、高齢者等の参画の下で農園を運営します。農業者と市民、福祉事業者が連携し、また、商店会も関係していることから、農商福連携のきっかけになることが期待されます。



こがねい commons

コロナ禍に際して近所で豊かに暮らすことのできるよう、駅前広場や公園、農地などのオープンスペースを活用し、まちのにぎわいを生み出そうとする小金井市観光まちおこし協会の事業です。将来的に発生が予想される空き家・空き地の有効活用も視野に入れていきます。副業や地域での活動に関心のある人の小さなチャレンジの場として機能していくことが期待されます。



5

方針 5

安心して
出かけられること

誰もが安心して 出かけられる環境をつくる

考え方

都市整備部門や警察、商店会等と連携し、
高齢者はもとより、子どもと一緒にの人にとっても、
安心して出かけられる歩行環境や買物環境を整えていきます。
誰もが安心して魅力を楽しむ環境になることで、
多くの人が市内で買物を楽しみ、活気が生まれていきます。

取り組んでいること

LINE を用いた道路情報の収集

市では LINE を活用し、道路の問題を市民から情報提供してもらう窓口を立ち上げました。位置情報の分かるかたちで問題のある箇所を写真に撮って送付してもらうことで、きめ細やかに道路の状況を把握し、迅速な対応が可能となっています。

方針 6

事業・活動を
継続していく
ための仕組み

事業・活動を 継続していくための 仕組みをつくる

6

考え方

地域の産業的基礎の活性化・持続可能性にとって重要です。
そこで、産業振興の土台となる方向性として位置づけ、
商業、工業、農業、観光を問わず、市内における事業が継続されるよう支援を行い、
まちの活気の土台となる産業的基礎を確立します。

取り組んでいること

ウェブサイト「まるん通信」

観光まちおこし協会が運営する、市内のイベントや魅力を発信するブログです。市民が「まるんレポーター」となって、生活者目線で取材し、記事を作成・発信しています。



みんなで、にぎわいをつくっていきます

小金井市に住み働き学ぶみなさん

事業者

商店会

商工会

小金井市観光まちおこし協会

農業者、JA、農業振興連合会

市民団体・地域団体、大学等

小金井市

にぎわいづくりに関心を持っていただいた方へ

▶ 小金井市産業振興プランの本編を読みたい

小金井市ホームページからご覧いただけます。
https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/sangyou_rousei/sanshinplan.html



▶ プランの内容について問い合わせたい

小金井市市民部経済課にお問い合わせください。
〒184-8504
東京都小金井市本町 6-6-3
TEL 042-387-9831
E-mail s030399@koganei-shi.jp

▶ にぎわいづくりに関わりたい

市内での様々な取組に関わりたい、にぎわいづくりの企画をやってみたい、アイデアがあるので相談したいという方は、ぜひ小金井市観光まちおこし協会にご相談ください。

一般社団法人 小金井市観光まちおこし協会
〒184-0004
東京都小金井市本町 6-5-3 シャトー小金井 1 階
TEL 042-316-3980
E-mail info@koganei-kanko.jp